

平成30年度 行政評価事業別シート

	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	佐藤芳章
	全体計画						経費区分		-		内線	3630
事務事業名	4309 公民館活動事業											
所 属	130600 社会共創部・中央公民館											
施 策	04011800 生涯学習の機会充実											
予算科目	会計	01 一般会計										
	科目	100602 教育費・社会教育費・公民館費										
	事業	030000 公民館活動事業										
事業目的						事業概要・効果						
<p>少子高齢化、情報化、国際化など社会環境が急速に変化する中、市民が生涯にわたり生きがいを求め、様々な学習活動、文化活動、ボランティア活動、地域づくり活動等に取り組む意欲に応えるための事業を推進する。</p>						<p>市民が生涯にわたり生きがいを求め、様々な学習活動、文化活動、地域づくり活動等に取り組む意欲に応えるため、市民学園や成人講座などの各種講座を開催する。また、事業推進にあたっては文化芸術協会、公民分館をはじめとした各種団体と連携を図ることも視野に入れる。</p> <p>地域づくりを進めるには、住民自らが主体性を持ち活動することが求められる。公民館の講座や事業を通じて市民が得られる達成感や喜びが、市民共創の地域づくりへの力となることが期待できる。</p>						

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
市民学園の開催 文化芸術講座、マイ・ノート活用講座等他団体・課との連携事業の実施 地域づくり推進委員会の事業の実施 各種講座の実施等	市民学園の開催 文化芸術講座、おでかけ健康教室等他団体・課との連携事業の実施 地域づくり推進委員会等団体の活動支援 各種講座の実施等
平成29年度 実績	平成30年度 予定
市民学園の開催 文化芸術講座、おでかけ健康教室等他団体・課との連携事業の実施 地域づくり推進委員会等団体の活動支援による小さな拠点づくり	市民学園の開催 文化芸術講座、マイ・ノート活用講座等他団体・課との連携事業の実施 地域づくり推進委員会等団体の活動支援による小さな拠点づくり
平成31年度 予定	平成32年度 予定
市民学園の開催 文化芸術講座、マイ・ノート活用講座等他団体・課との連携事業の実施 地域づくり推進委員会等団体の活動支援による小さな拠点づくり	市民学園の開催 文化芸術講座、マイ・ノート活用講座等他団体・課との連携事業の実施 地域づくり推進委員会等団体の活動支援による小さな拠点づくり

指標名	中央公民館・地域公民館が主催する講座				
算式	階層別講座、教養講座、国際化講座、地域・まちづくり講座延参加者数				単位 人
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標				30,000
	実績	27,956	7,320		
指標選定の理由	学習機会提供し、参加した人数を把握することにより施策目標の達成度を測ることができる。				
最終年度目標の根拠	過去からのデータ主計を基に算出				
指標名					
算式					単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		平成29年度 決 算	平成30年度 予 算
事業費		76,185	73,637
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	62	62
一般財源		76,123	73,575
人員数(人)	正規職員	3.8	3.8
	嘱託職員	10.7	9.8
	臨時職員	7.4	8.4
人員コスト	正規職員	27,166.2	27,166.2
	嘱託職員	29,596.2	27,106.8
	臨時職員	8,724.6	9,903.6
	計	65,487.0	64,176.6
市民一人当たりの経費		2.7	2.6
総額		141,672.0	137,813.6

(単位：千円)

平成29年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	2,333	講師謝礼等
11節 需用費	2,042	講座用材料費、資料印刷代等
13節 委託費	4,654	世代間情報格差是正事業委託料
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	13,508	公民分館交付金、県公民館運営協議会負担金等
その他	53,648	職員人件費、備品購入費用等

(単位：千円)

平成30年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	3,450	世代間情報格差是正事業委託料等
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	14,162	公民分館交付金、県公民館運営協議会負担金等、社会教育団体補助金、地域づくり交付金等
その他	56,025	職員人件費、備品購入費用等

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	学習活動で教える、教わることが市民の生きがいとなっている。様々な活動の中で市民同士の交流が生まれ、つながりが出来ている。公民分館、地域づくり推進委員会等の地域づくり活動を支援し、住民が主体となって地域課題について考え解決していく場となっている。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	普通
評価コメント	毎年、事業成果について検証を行い、事業内容、広報の方法等を検討している。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	各種団体や他課等と積極的に連携し事業実施することで費用を抑えている。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

館利用者の高齢化や固定化。参加者が定員に達しない講座があった等。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	進め方の改善（拡大）	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
<p>地域住民との共創による地域づくりを継続する。講座等の開設にあたっては、住民ニーズ、地域課題の把握に努めることが必要</p>		<p>利用者の固定化、インプットに対しアウトプットが少ないのではと言った課題解決に向けて引き続き取り組む。社会教育を取り巻く環境が変わってきているので、今後の公民館のあり方について検討を進める。</p>	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	